



経営説明会

2022年度

2022年 7月

 愛媛銀行



はじめに	P. 3
第1章 2021年度の決算概要（単体）	P. 6
第2章 中期経営計画の概要と進捗	P.21
第3章 今後の取組み	P.25
第4章 サステナビリティ経営	P.30

新型コロナウイルス対策支援ファンド

(山口フィナンシャルグループと共同で設立)

【目的】

新型コロナウイルス対策として
資金面のサポートの充実

にしせと地域共創債権回収株式会社

(山口フィナンシャルグループと共同で設立)

【目的】

アフターコロナにおける経営改善と
再成長に向けた地域経済エコシステムの構築

日本政策金融公庫との協調によるコロナ支援

(新型コロナ対策資本金劣後ローン)

【目的】

企業の財務体質の改善

原油・原材料価格高騰対策支援資金

(2022年5月13日 取扱開始)

【目的】

資金繰りの支援、事業継続、経営安定化

株式会社西瀬戸マリパートナーズ

同社の 目的

- シップファイナンス業務の高度化支援
- 海事産業事業者の交流促進

▶ 海事産業の更なる
発展に貢献



【今治市の特徴】

- 世界でも類を見ない海事産業が集積する海事都市であり、日本最大
- 外航海運では、日本の外航船の5割近くを今治市の船主が保有
- 造船業では、日本全体の3割を超える船舶を建造

はじめに...

新たな事業領域拡大を目指すために設立した新会社

ひめぎん



株式会社フレンドシップえひめ



▲ 記者会見（2022年4月21日）

【2022年3月】
ECサイト（22_Ehime）開店

【2022年5月】
カタログギフト事業開始

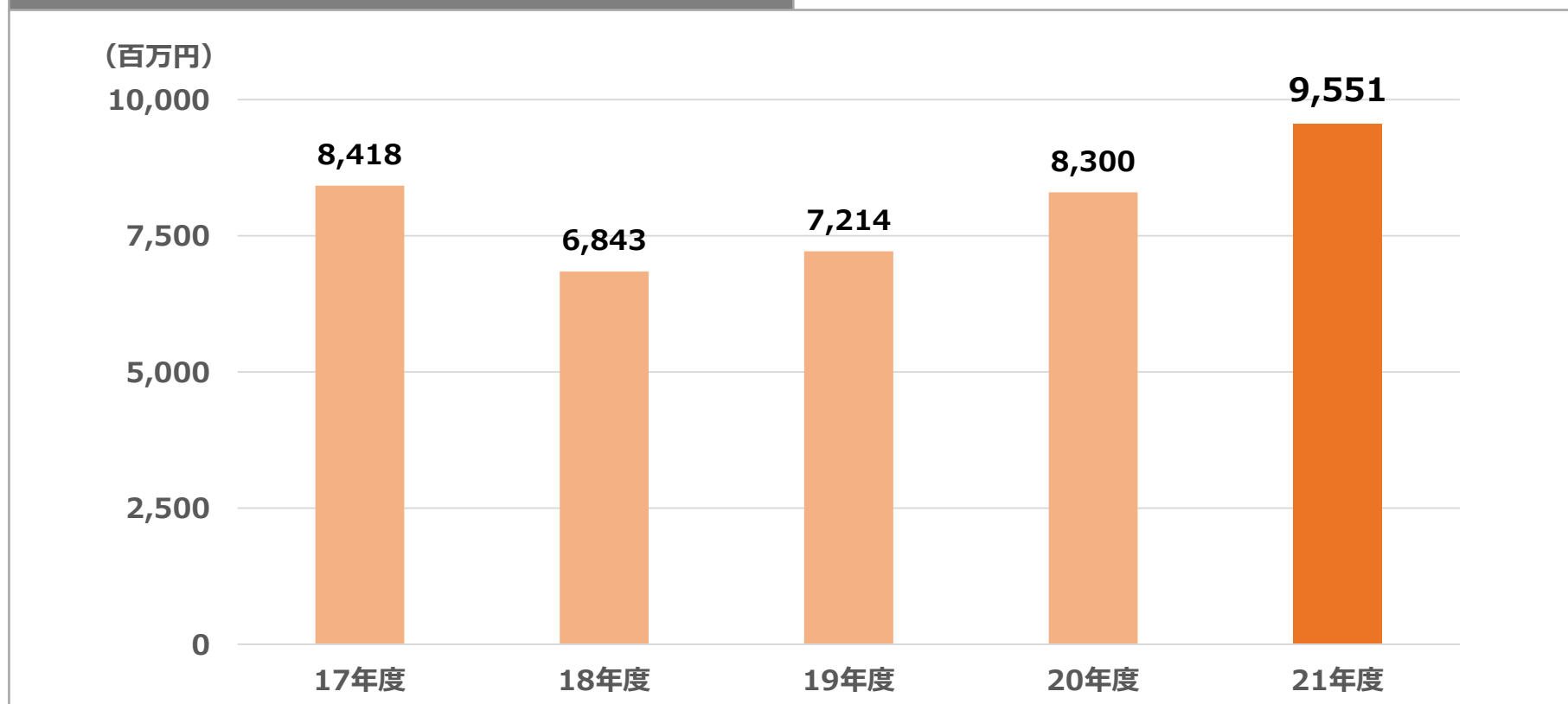


第1章

2021年度の決算概要（単体）

- 有価証券利息配当金の増加などによりコア業務純益は、前年比12億円増の95億円

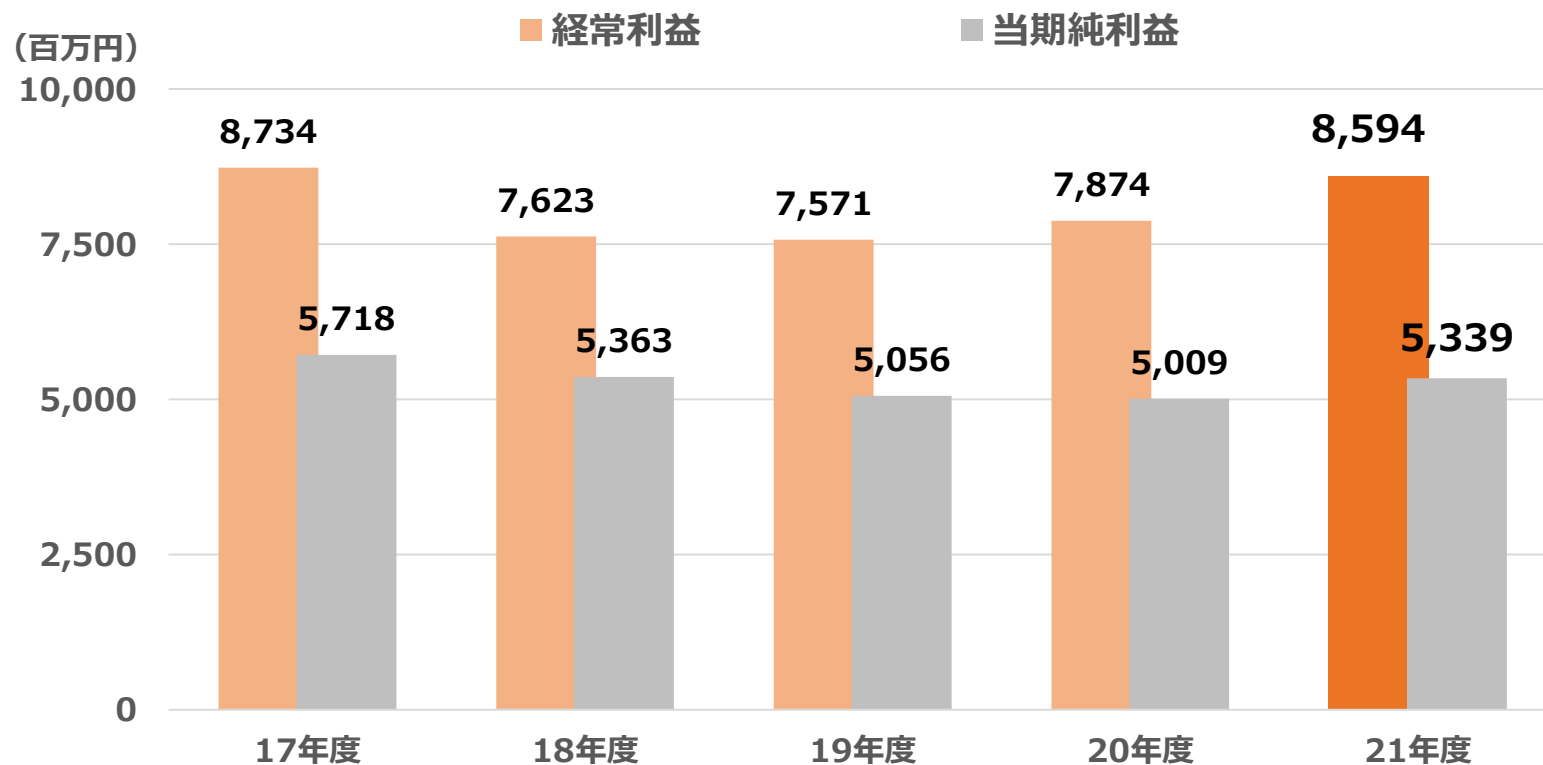
コア業務純益の推移





- 当期純利益は、8期連続で50億円超を確保。厳しい経営環境の中、安定した収益力を維持

経常利益・当期純利益の推移

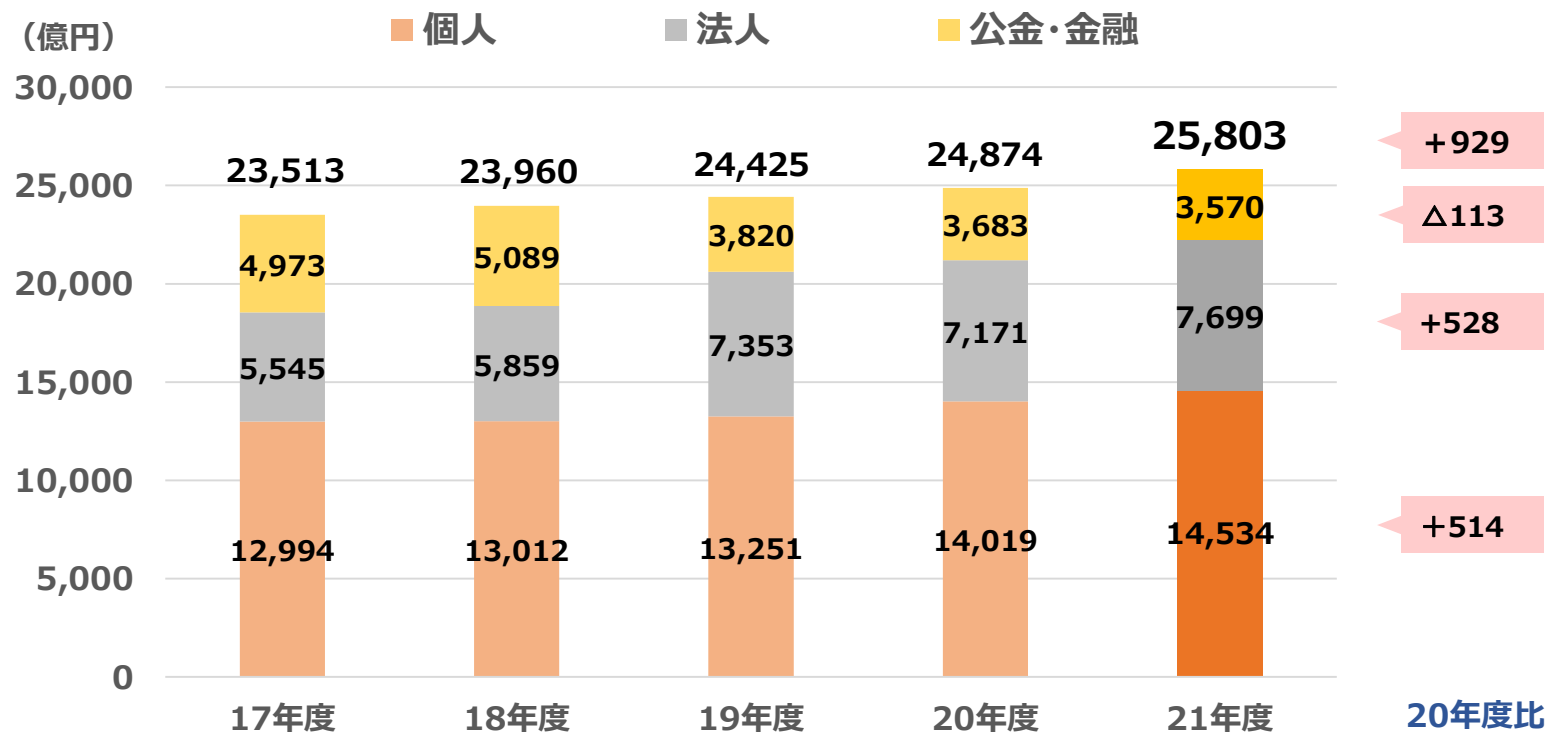


預金・譲渡性預金の状況



- 預金・譲渡性預金（未残）は、法人預金、個人預金ともに順調に増加し、前年比929億円の増加

主体別 預金・譲渡性預金（未残）の推移

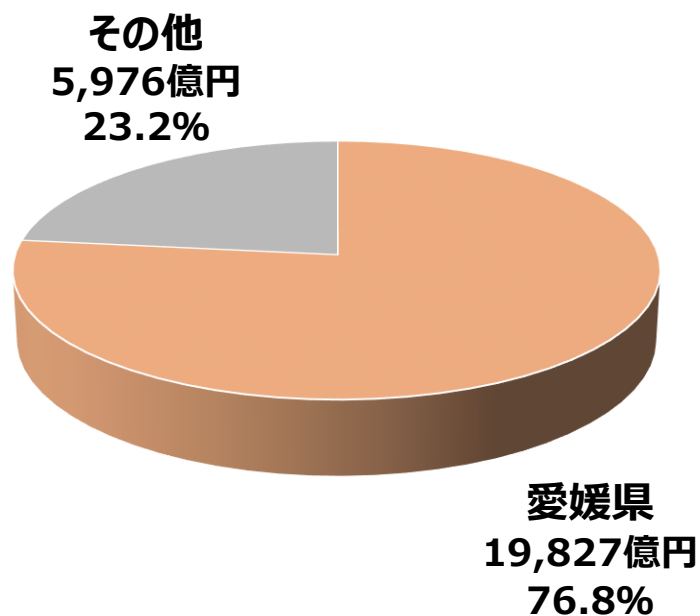


預金・譲渡性預金の状況

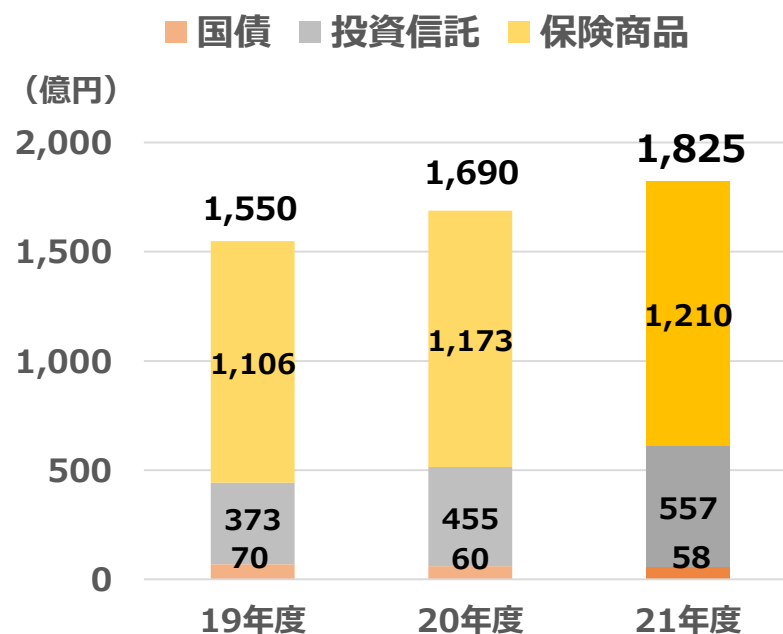


- 約 8 割を愛媛県内から調達
- 預り資産残高は、投資信託新商品の販売が好調に推移した結果、前年比138億円の増加

地域別 預金・譲渡性預金（末残）



預り資産残高の推移



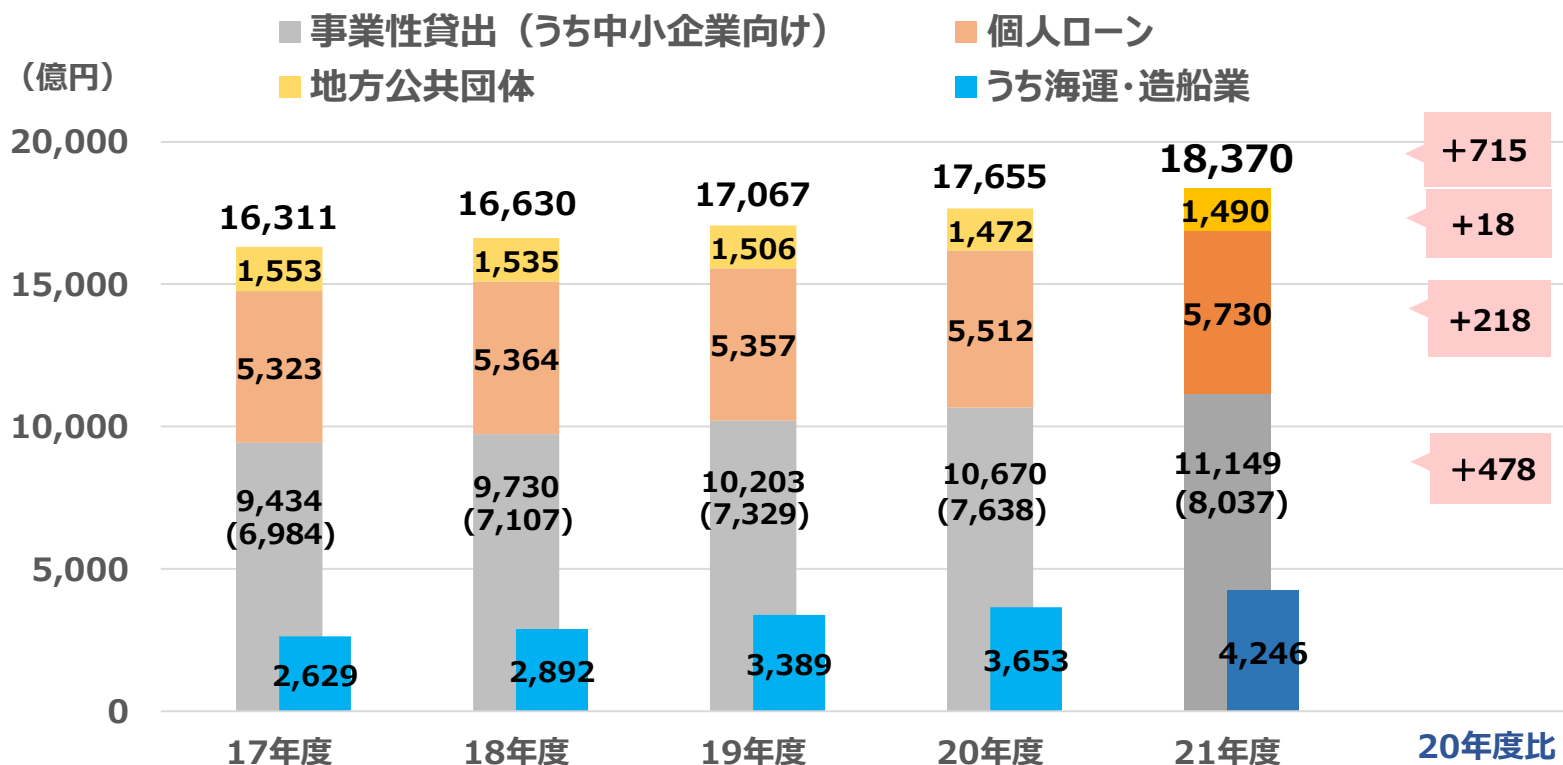
※保険商品は、販売累計額を記載しております。

貸出金の状況



- 貸出金（末残）は、中小企業向け、個人向けを中心に積極的な貸出に努めたことで、前年比715億円の増加。特に、海運造船業向け貸出に注力

主体別 貸出金（末残）の推移

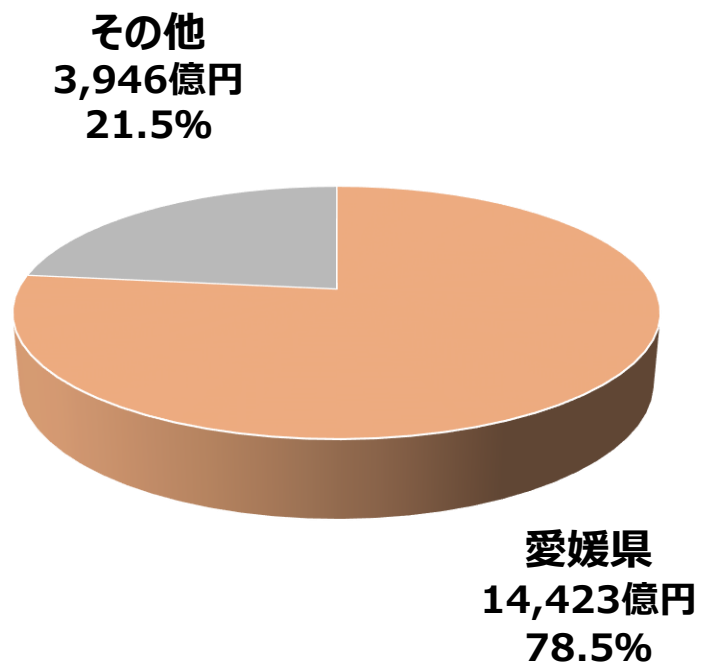


貸出金の状況

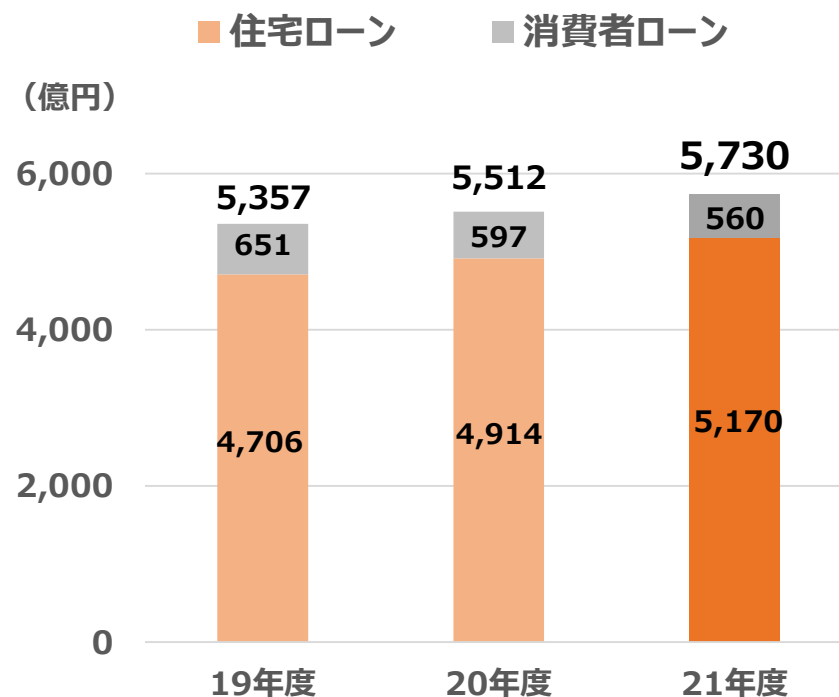


- 約8割が県内向け貸出
- 個人ローンは、WEB商品が好調に推移した住宅ローンが伸びた結果、前年比218億円の増加

地域別 貸出金（末残）



個人ローン残高の推移

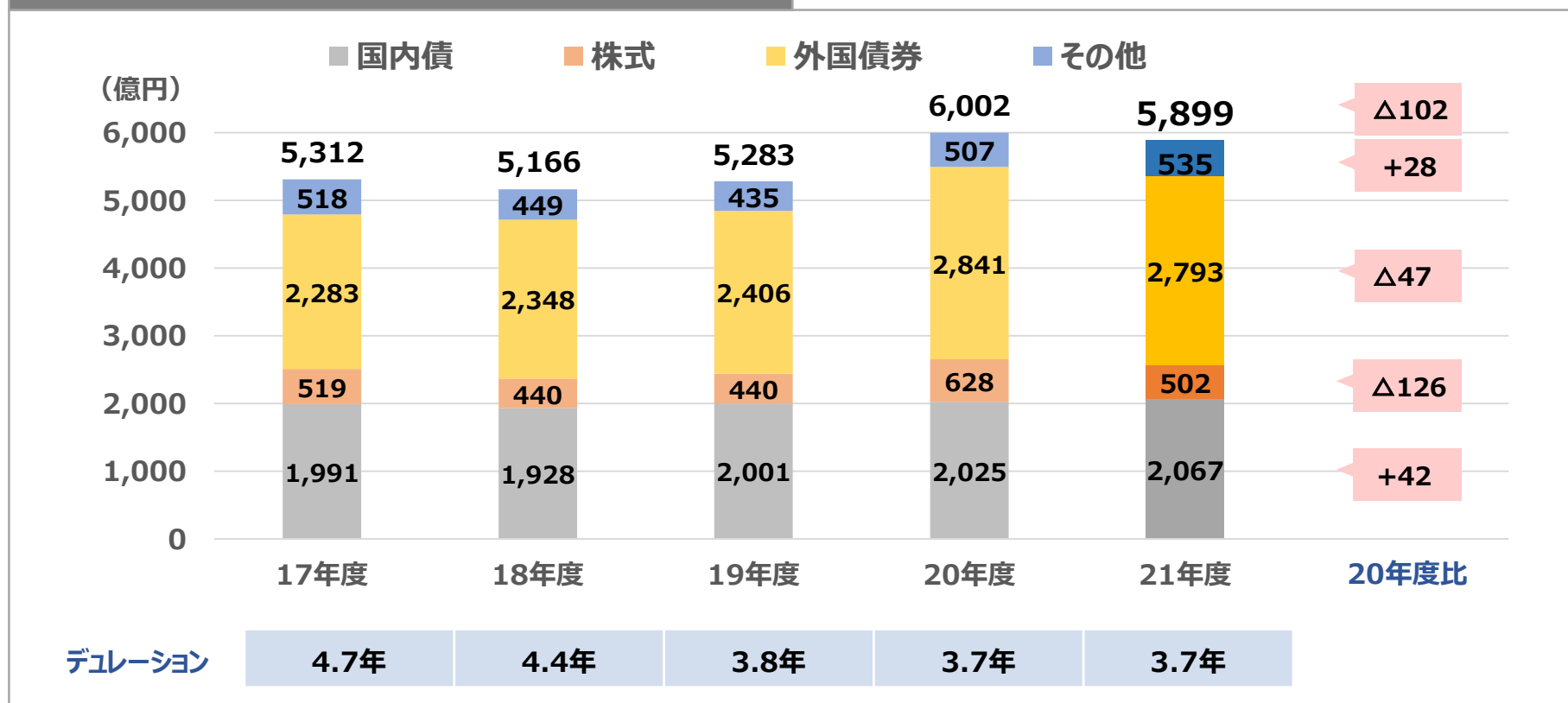


有価証券の状況



- 有価証券ポートフォリオは、外国債券を中心としつつ、低金利環境の長期化を踏まえて運用の多様化を継続

有価証券残高の推移



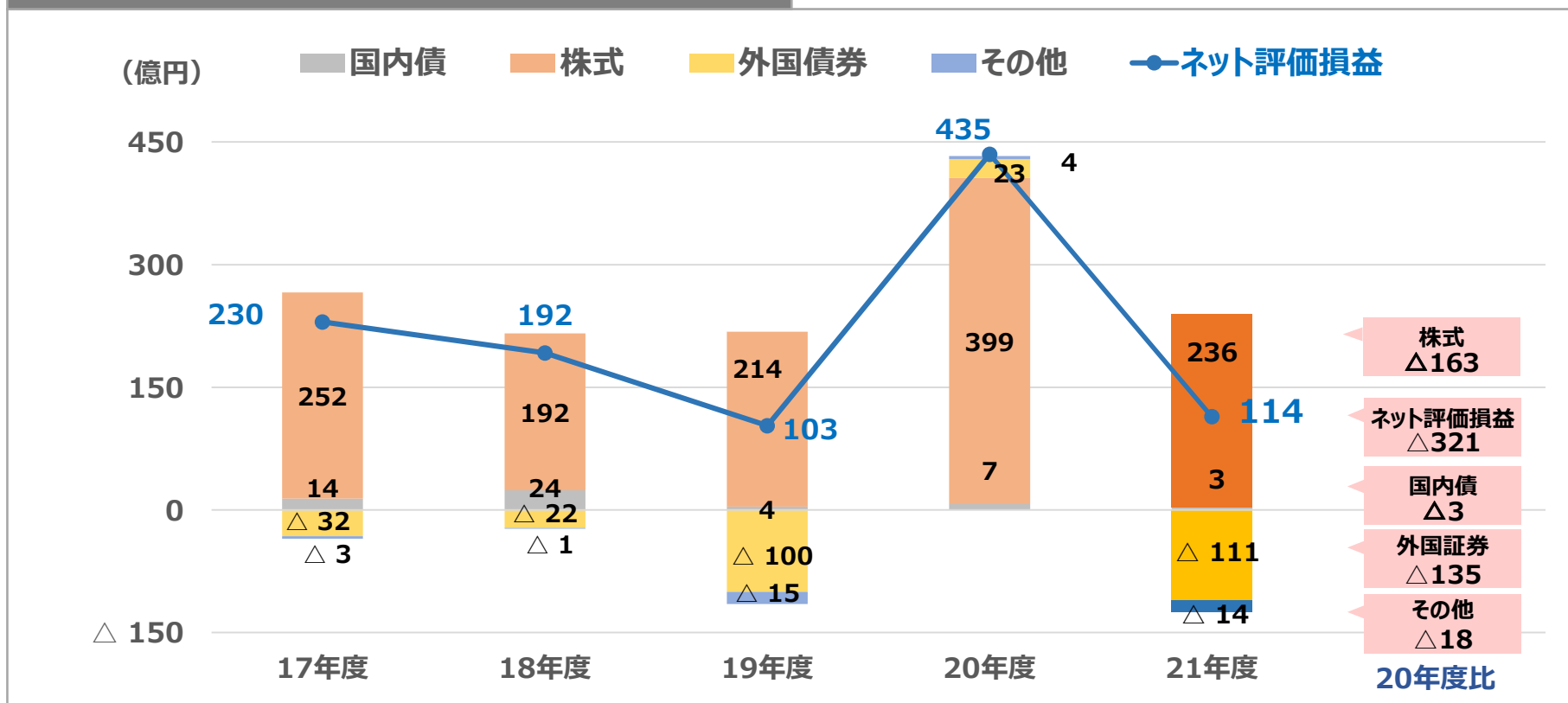
※組合出資金勘定を除く。

有価証券の状況



- 有価証券評価損益は、海外での金融引締めの影響により減少するも、114億円の評価益を計上

有価証券評価損益の推移（その他有価証券）



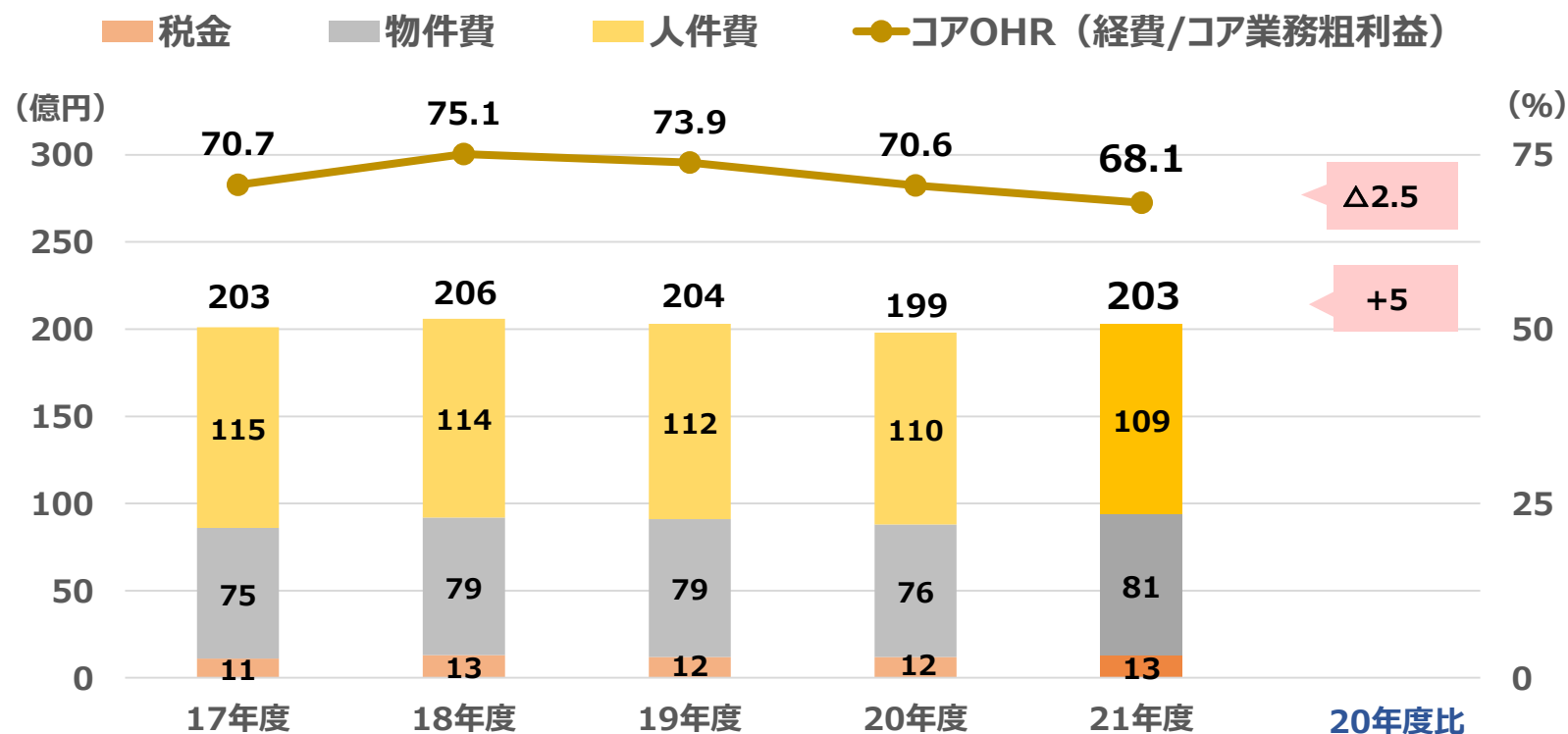
※組合出資金勘定を除く。

経費の状況



- 経費は、業務効率化に向けたシステム投資を積極的に行った結果、前年比5億円増加
- コア業務粗利益の大幅な増加により、コアOHRは前年比2.5ポイント改善

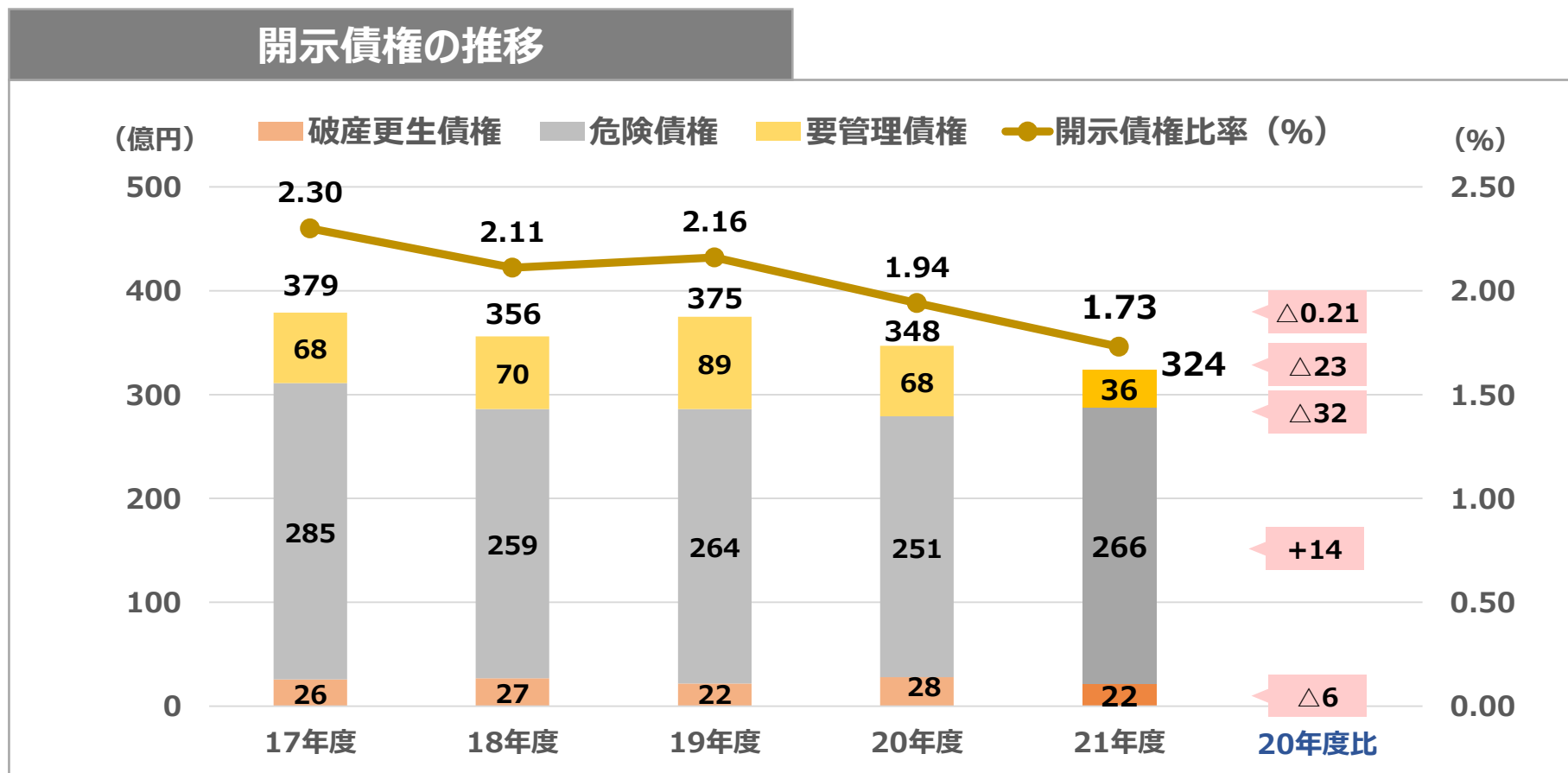
経費とコアOHRの推移



開示債権の状況



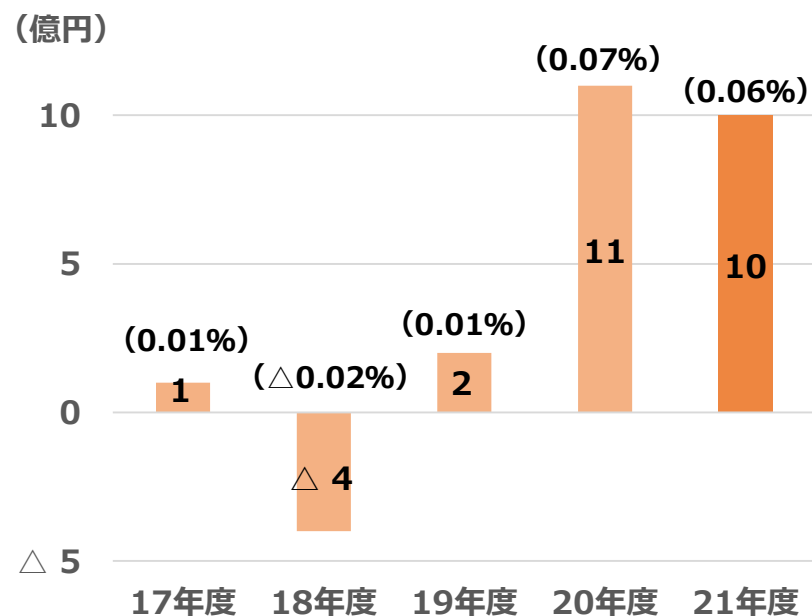
- 開示債権は要管理債権を中心に減少、開示債権比率も前年比0.21ポイント低下



※開示債権の残高については、単位未満を四捨五入して表示している。

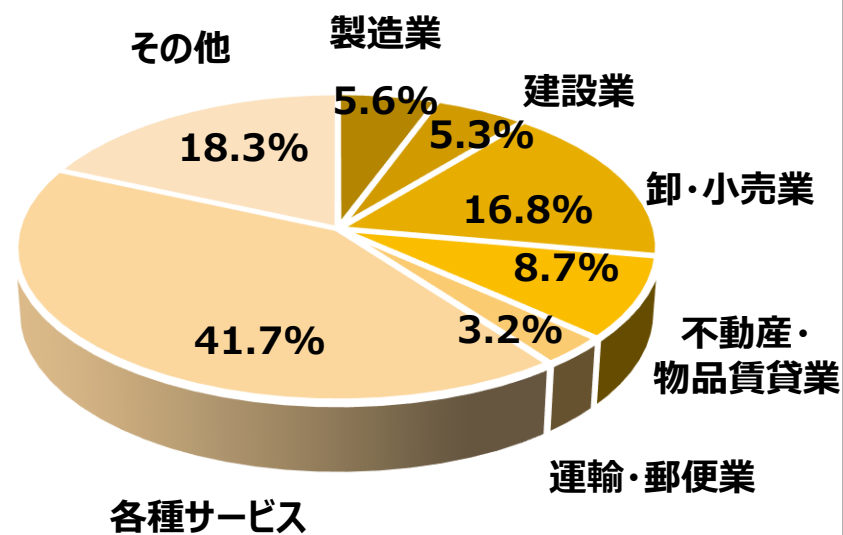
- 信用コストはコロナ禍による大きな影響は見られず、信用コスト比率も0.06%と低水準で推移

信用コストの推移



※カッコ内は信用コスト比率（信用コスト／貸出金平残）

業種別リスク管理債権の内訳



自己資本の状況

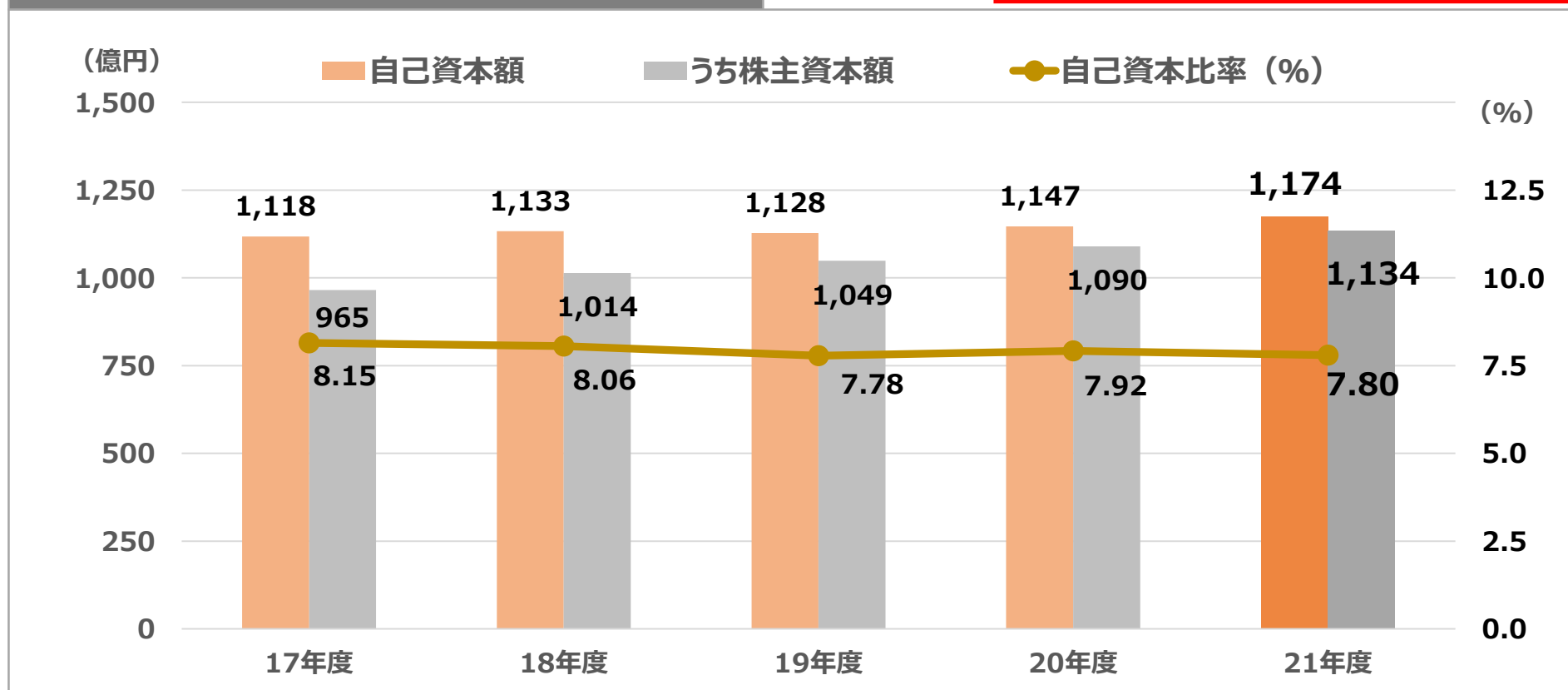


- 自己資本額は安定した利益計上により順調に増加したものの、積極的な貸出を背景としたリスクアセットの増加幅が大きく、自己資本比率は低下

参考

- 連結自己資本比率は8%超で推移
- 2022年3月期は8.14%

自己資本額の推移

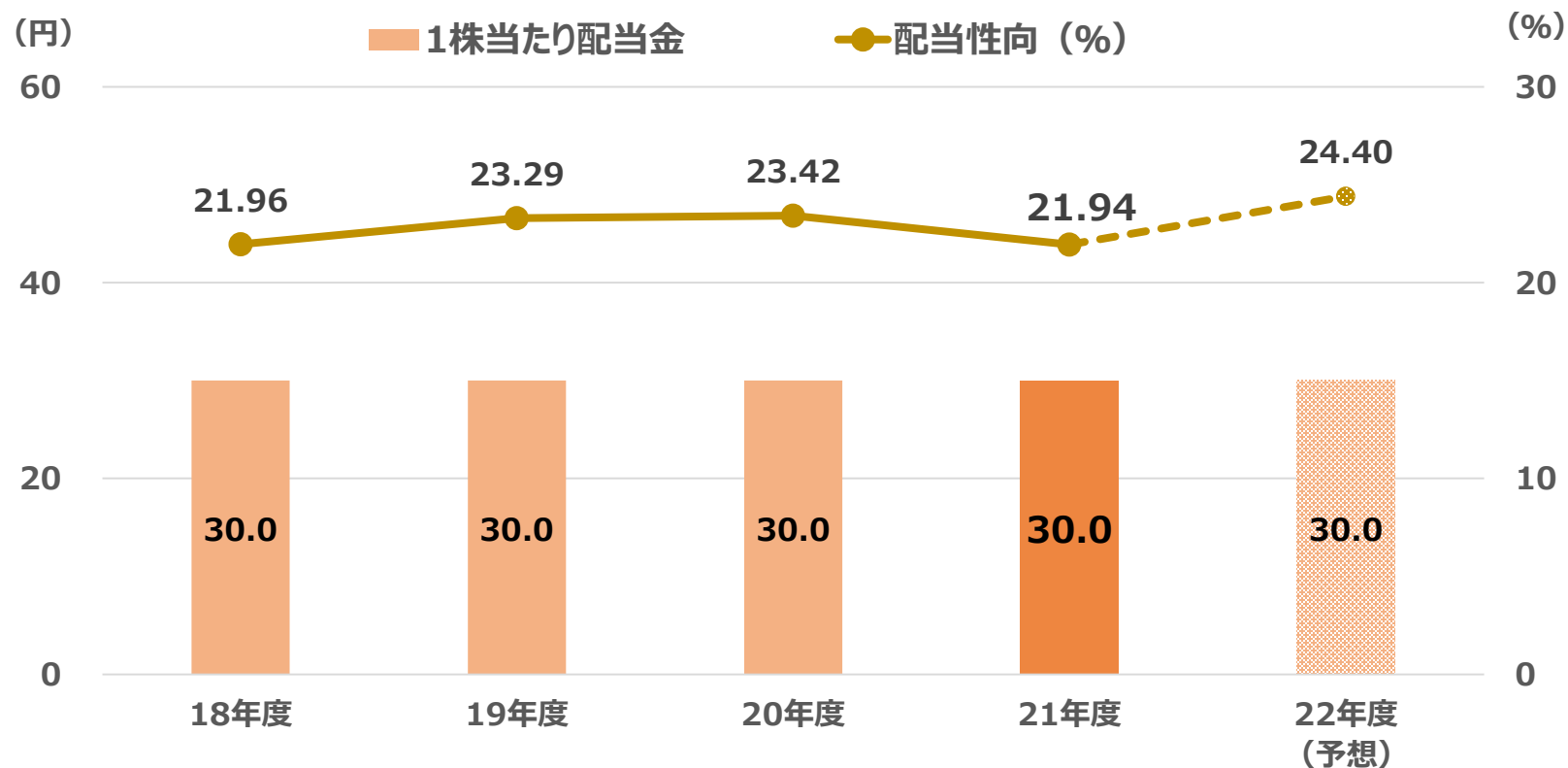


株主還元の状況



- 毎期30円の安定配当を実施、22年度も30円配当を予想

1株当たり配当金と配当性向

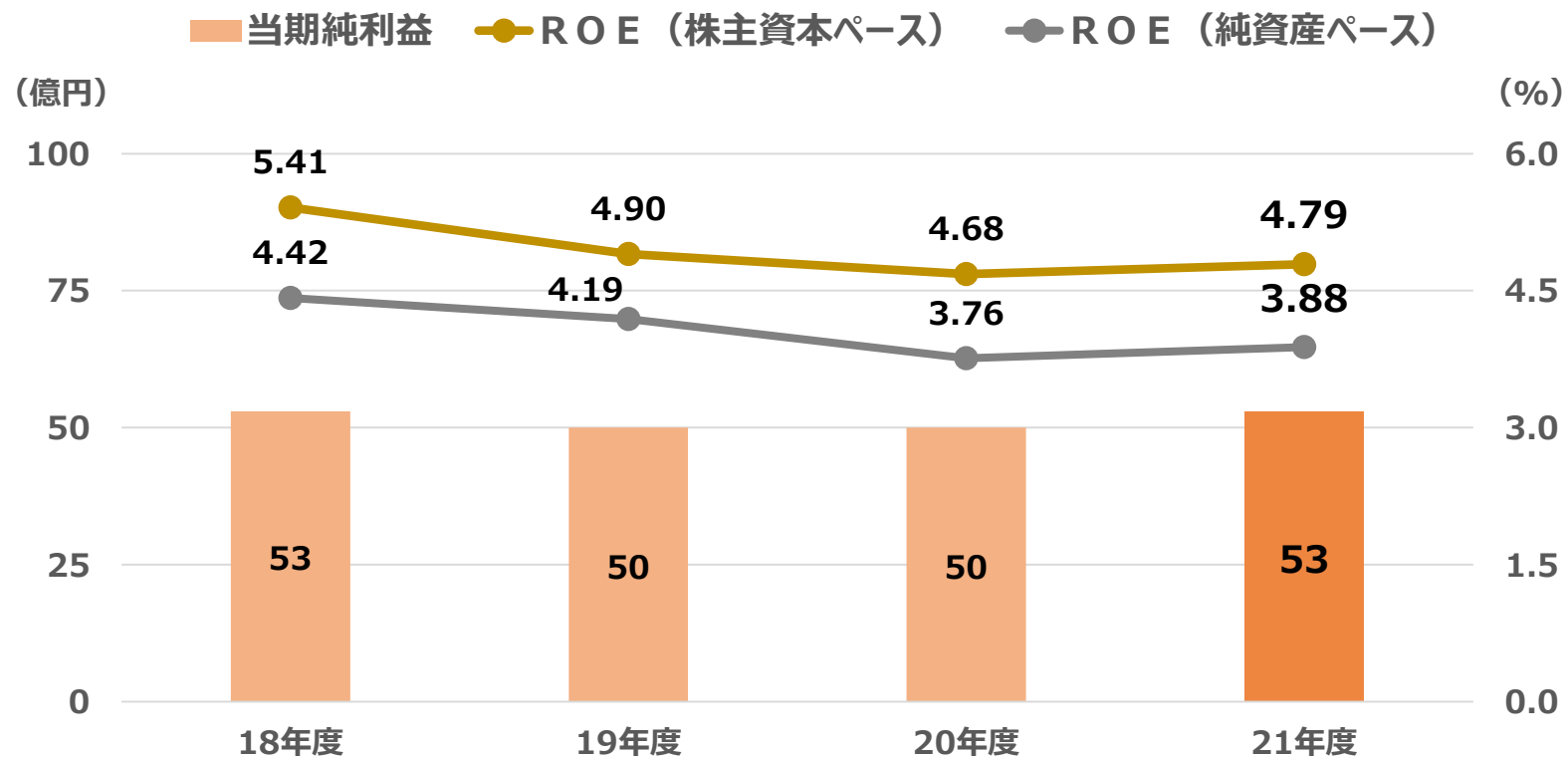


ROEの状況



- ROEは、純利益の増加に伴い上昇し、株主資本ベースでは4.79%

ROEの推移



第2章

中期経営計画の概要と進捗

中期経営計画の概要 1/2

成長戦略

お客さまに寄り添いながら、新連携による金融プラス1戦略の広域展開等により、当行独自のプラットフォームを形成し、地域価値の共創を実現する。

<目指す姿>
地域価値共創型
広域プラットフォーム銀行

第16次中期経営計画
(2018~2020年度)
変革への挑戦
~すべてはお客さまのために~

収益構造
改革

お客さま本位
の業務改革

役職員の
行動改革

1st
STEP

第17次中期経営計画
(2021~2023年度)
変革への挑戦 2nd stage
~地域再起動のプラットフォームへ~

地域戦略

広域戦略

グループ総合戦略

2nd
STEP

第18次中期経営計画
3rd
STEP

2018

2021

2024

2027

基本方針

「金融プラス1戦略」
の推進

- 事業領域の拡大
- 外部連携によるイノベーション

効率経営
の実践

- 業務改革
- 環境変化に対する適応力

強固な経営基盤
の確立

- システム基盤の強化
- 組織づくり、人づくり

中期経営計画の概要 2/2



第17次中期経営計画（2021年度～2023年度）

全体戦略



■ 地域戦略

アフターコロナの地域再起動のため、コンサルタント力を強化し、地域のプラットフォームとして存在価値を高める

■ 広域戦略

新連携による金融プラス1戦略、異業種との業務範囲拡大および消費者ローンの全国展開等によりトップライン強化を目指す

■ グループ総合戦略

愛媛銀行グループが一体となり、異業種企業との連携も活用しながら、総合金融サービスを提供することで、グループシナジーを最大化する

個別戦略

- 01 新連携による金融プラス1戦略
- 02 コンサルティング戦略
- 03 デジタル戦略
- 04 ESG・SDGs戦略
- 05 人財戦略
- 06 生産性向上戦略
- 07 市場戦略
- 08 経営管理態勢強化

目指す姿

地域価値共創型広域プラットフォーム銀行

中期経営計画 数値目標と進捗 (単体)



		2020年度 (中計直前期)	2021年度 実績	2023年度 計画 (中計最終年度)
収益性	当期純利益	50億円	53億円	50億円以上
	コア業務粗利益	282億円	299億円	282億円以上
	OHR ^{※1}	70.6%	68.1%	73%未満
成長性	総預金残高	24,874億円	25,803億円	25,000億円以上
	貸出金残高	17,655億円	18,370億円	18,500億円以上
健全性	自己資本比率 ^{※2}	7.92%	7.80%	8%以上
	開示債権比率 ^{※3}	1.94%	1.73%	1%台

※1 OHR：営業経費 ÷ コア業務粗利益

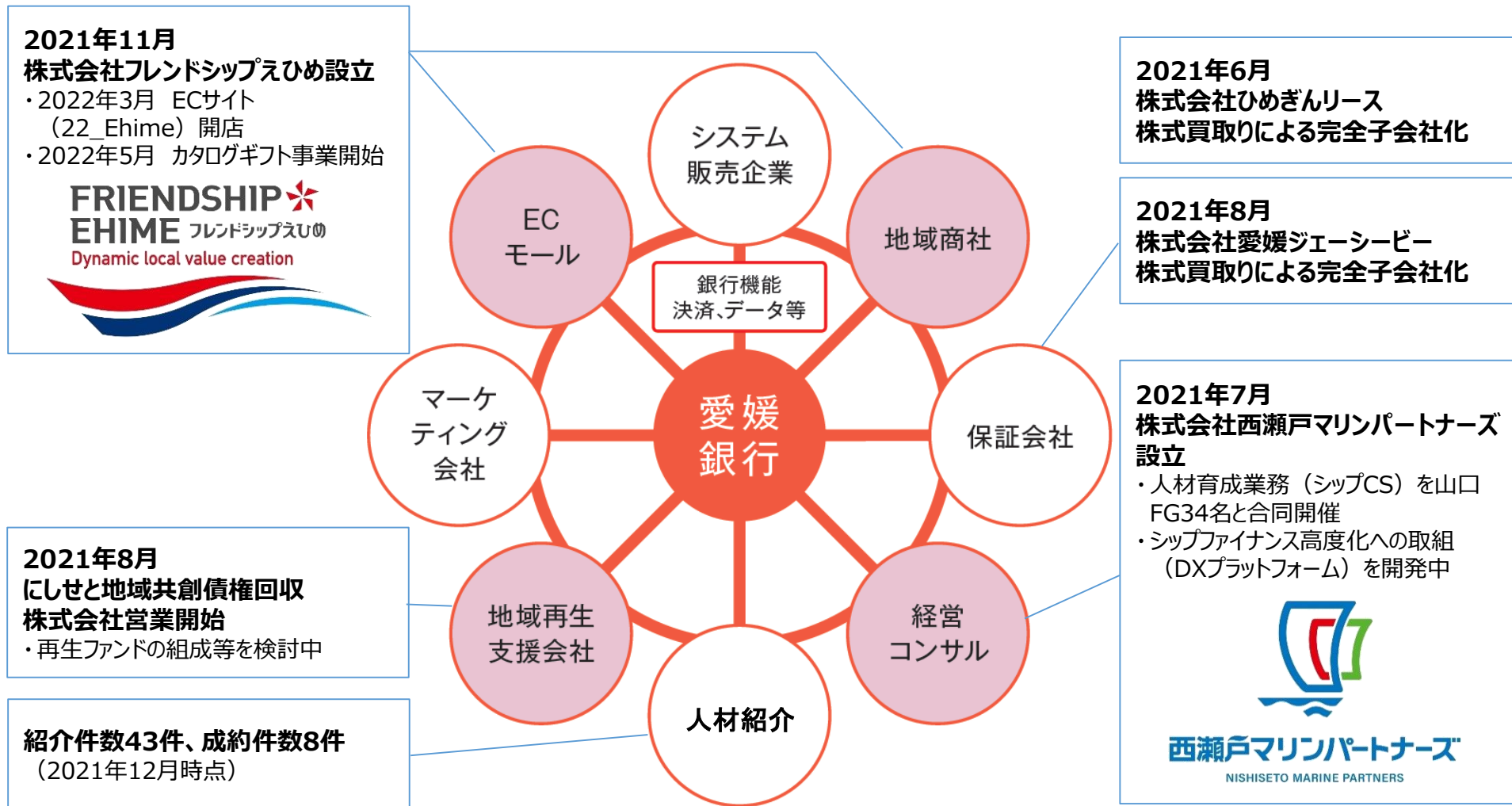
※2 自己資本比率：自己資本額 ÷ リスクアセット

※3 開示債権比率：開示債権残高 ÷ (貸出債権残高 + 保証等債権残高)

第3章

今後の取組み

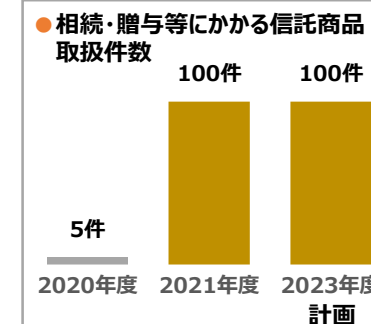
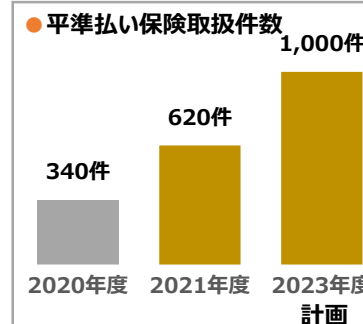
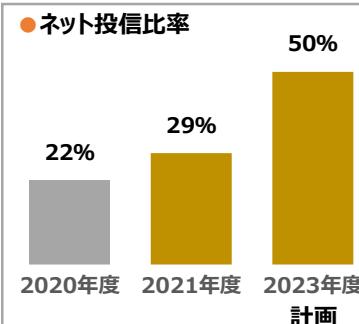
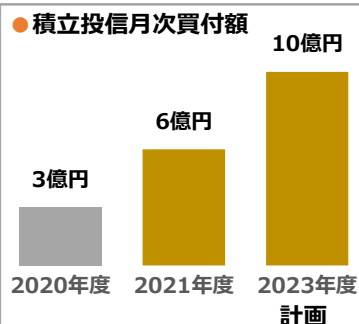
地域プラットフォームの次世代モデルの確立に向け、共同事業会社等を設立



個人向け取組

ライフステージに応じた資産運用、個人ローン等の提案力強化
シニアサービス（老後資金や認知症など高齢化社会の課題）への対応

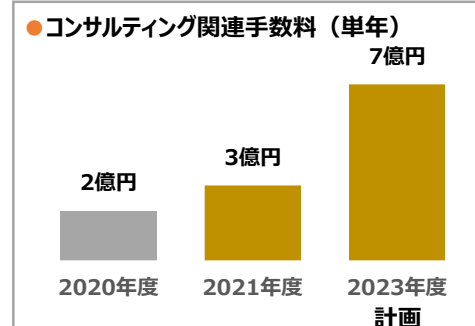
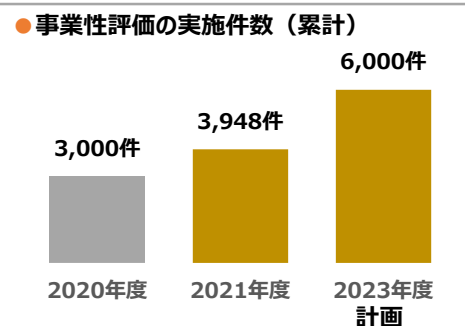
<KPI>



法人向け取組

事業性評価により企業のニーズ・課題を適切に把握し、ソリューション提供
により取引先の企業価値を創造

<KPI>



<参考>

- Ehime Big Advance
2020年4月 取扱開始
契約数 1,086件（2022年3月末）
- ひめぎんビジネスマッチングサービス
2022年5月 取扱開始

デジタル展開 ～「ひめぎんアプリ」の拡大～



お客さまの利便性向上を目的に、「ひめぎんアプリ」のバージョンアップを随時推進

▼スマートフォンアプリ「ひめぎんアプリ」



▼近年の機能拡充の進捗

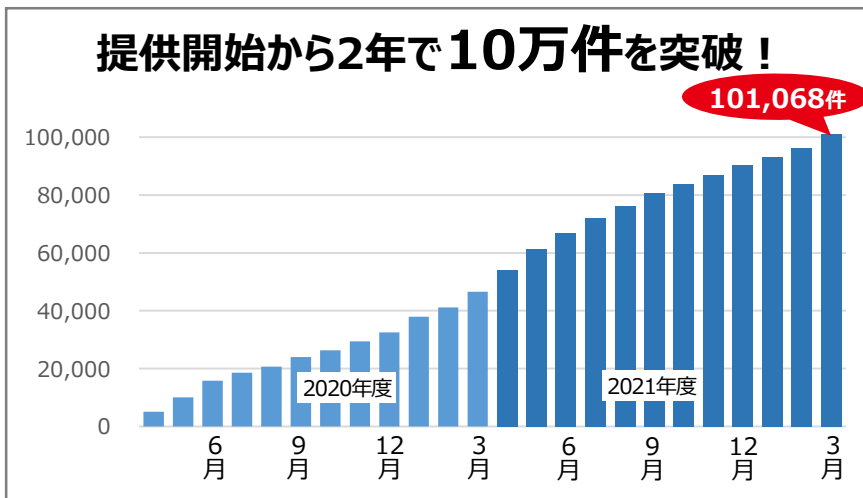
第2回バージョンアップ (2021年9月)

- 入出金通知機能
- ATM出金ロック設定
- 外貨預金残高照会
- 公営競技券購入 (NEOBANK)

第3回バージョンアップ (2022年6月)

- 振込機能
- 定期預金預入・解約
- 住所変更手続き
- 多要素認証

▼「ひめぎんアプリ」ダウンロード数の推移



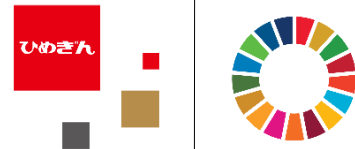
▼「ひめぎんビジネスポータル」(2022年10月導入予定)

事業を営むお客さまが必要とするサービスを
集約したWEBサイト

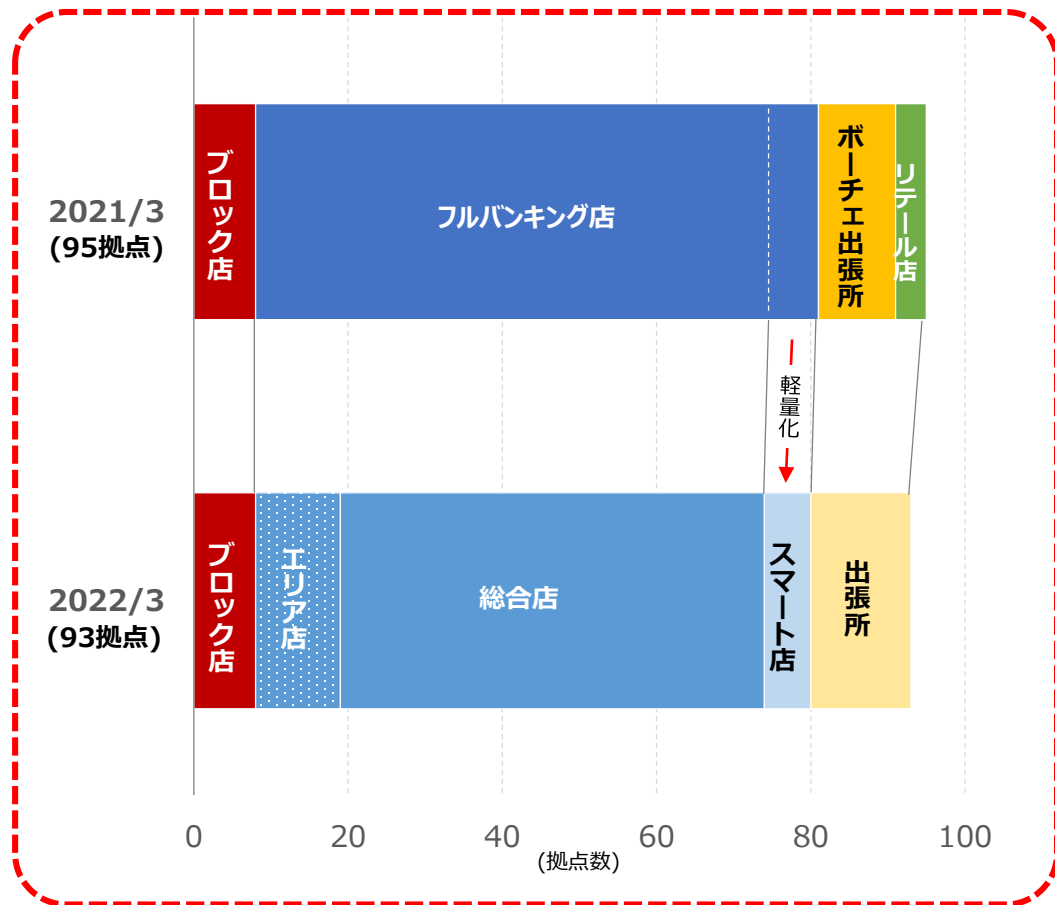
【主な機能】

- 厳口座情報表示機能
- お借入情報表示機能
- ご融資可能額の案内機能

店舗ネットワークの再構築

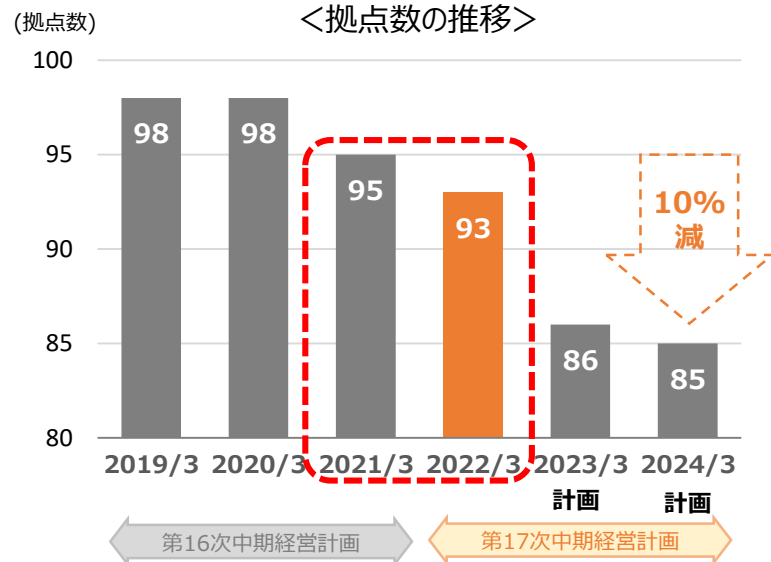


▼ 機能別店舗の再配置



▼ 戦略のポイント

- 高コスト店の統廃合
- 個人営業中心で軽量型のスマート店の展開
- 店頭事務の大幅削減
→ 事務簡素化、デジタル化、事務集中化
- 営業店をコミュニティ形成の「場」へ
→ 営業店空きスペースの有効活用



第4章

サステナビリティ経営

経営理念

ふるさとの発展に役立つ銀行
たくましく発展する銀行
働きがいのある銀行

サステナビリティ方針

社会貢献

CSR宣言

本業

SDGs宣言

消費者志向

消費者志向自主宣言

2021年8月 TCFD提言への賛同を表明
* TCFD：気候変動関連財務情報開示タスクフォース

2022年2月 サステナビリティ委員会を設置

2022年4月 GHG排出量削減目標を公表
削減目標：2013年度比 ▲50%（2030年度まで）
* GHG：温室効果ガス

2022年4月 サステナブルファイナンスの取扱い開始
（自行評価型）

<取扱い商品>

- ひめぎんグリーンローン
- ひめぎんサステナビリティ・リンク・ローン
- ひめぎんサステナブル・サポートローン

R&I社の
セカンドオピニオン
取得

2022年6月 「ESG融資促進利子補給事業」
「脱炭素融資促進利子補給事業」
指定金融機関の採択を受け取扱い開始

2022年5月 「ひめぎんSDGsローン」の取扱い開始
<取扱い商品>

- ひめぎんSDGsEVマイカーローン
- ひめぎんSDGsえひめ教育ローン
- ひめぎんSDGsリフォームローン

2021年10月 本店ビルの使用電力を
再生可能エネルギーへの切り替え
～年間290トンのCO2排出量を削減～

地方創生、地域活性化の取組み 1/5



起業塾の開催、ファンドの活用、プロジェクトの展開など、さまざまなアプローチにより、地域の新事業創出を支援

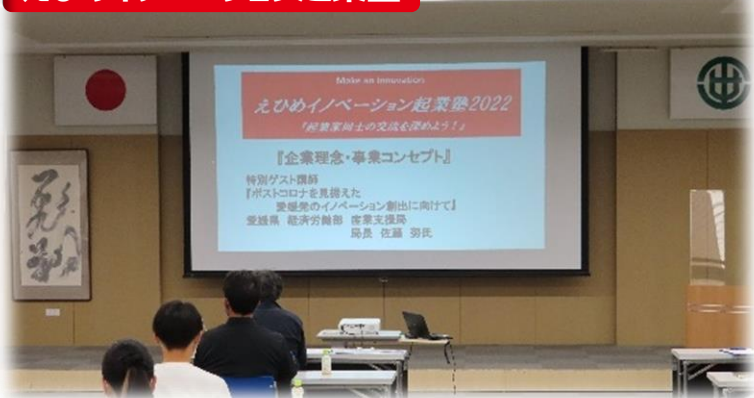
創業支援

2つのイノベーション起業塾

えひめアグリイノベーション起業塾



えひめイノベーション起業塾



新事業創出

愛媛アクセラレーター



愛媛アクセラレーター2021

地域の魅力を最大化～愛媛の未来づくり～

- 愛媛銀行とKPMGジャパンの共催
- 愛媛県下のイノベーションエコシステムの構築に向けて、愛媛県内に新たな事業の創出を図ることが目的





環境省副大臣との意見交換会に参加

- 愛媛県からは中村知事をはじめ、金融機関や製紙会社、中小企業の代表者ら9名が出席し、当行からも代表取締役が出席
 - 脱炭素や環境政策の推進に向け、国としての環境政策について共通認識にするとともに、地方の課題と要望について意見交換
- ◀ 5月29日 環境省務台副大臣との意見交換会 愛媛県庁にて

【ESG金融①】
「ESG地域金融促進事業」（環境省）

- 環境省の補助事業
愛媛銀行は **2年連続の採択**

【ESG金融②】
「地域ESG融資促進利子補給事業」（環境省）

- 環境省の「地域ESG融資促進利子補給事業」を活用したESG融資の展開



令和3年度「消費者志向経営優良事例表彰※」 消費者庁長官表彰を受賞

※「消費者志向宣言」を公表し、宣言に基づいて優れた取組を行っている企業を表彰するもの

▼ 選考理由

SDGsの観点から企業診断を行い、結果のフィードバックや経営方針の策定サポートを行う等、地域銀行として地元企業に寄り添い、地域活性化を図る活動を実施している。
また、空き家対策の一環として自治体と共同でのセミナー実施やリバースモーゲージの取扱いを行う等、地域課題への取組をサービス向上にいかしている。

▼ 地域課題解決に向けた取組事例

SDGs経営立ち上げ支援サービス

お客さまとの対話を通じて、SDGsの取組みに向けた気づきを提供

サービス概要

- 何が出来ているかの把握
- 今後、何をするかを検討
- 目線のすり合わせ
- 対外PR支援



▲3月9日 消費者庁伊藤長官による表彰 日経SDGsフォーラムにて



愛媛マンダリンパイレーツのクラウドファンディングを提案

- 当行の提案により、愛媛マンダリンパイレーツの地域貢献活動を応援するクラウドファンディングを実施
- プロジェクトで集まった資金の一部を、スポーツを通じた青少年健全育成に役立てる資金として、愛媛県へ寄付

◀ 12月27日 中村知事・マンダリンパイレーツメンバーと愛媛県庁にて



松山市水源の森基金へ寄付

- ひめぎんCSR倶楽部を通じ、「松山市水源の森基金」へ寄付金を贈呈
- 松山市が「水源かん養事業」として水源確保などに取組んでいる森林整備活動を支援

1月14日 野志市長と松山市役所にて ▶





女性活躍

女性タスクチームの活用

「ひめのわ ～ 地域活性プラスワン ～」

- 女性タスクチーム「ひめのわ」が中心となって、毎週水曜日に当行営業店の駐車場に「キッチンカー」を出店
- 週替わりで多様なメニューを提供



人財育成

省庁・異業種への派遣（若手育成）

- 若手行員10名が異業種・省庁への武者修行出向
- 脱炭素分野の知見習得のため環境省への出向
(出向実績)
環境省、経済産業省、農林水産省、国土交通省、厚生労働省、日本貿易振興機構（JETRO）、東アジアアセアン経済研究センター（ERIA）、メガバンク など

働き方改革

副業によるスキルアップの醸成

- 社内副業は21名、個人事業主型副業は10名が従事
- 民間企業に週1～2日勤務できる制度などを検討予定



▼ 女子陸上部 山中柚乃選手

- 第106回日本陸上競技選手権大会 **3000m障害優勝 2連覇達成**
- 米国オレゴン州で7月開催の **第18回世界陸上競技選手権大会に出場**



(写真提供：フォート・キシモト)

本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、
当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的
とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって
異なる可能性があることにご留意ください。

お問い合わせ先

愛媛銀行 企画広報部

TEL089-933-1111 FAX089-933-1027

e-mail kouhou@himegin.co.jp

ホームページアドレス <https://www.himegin.co.jp/>